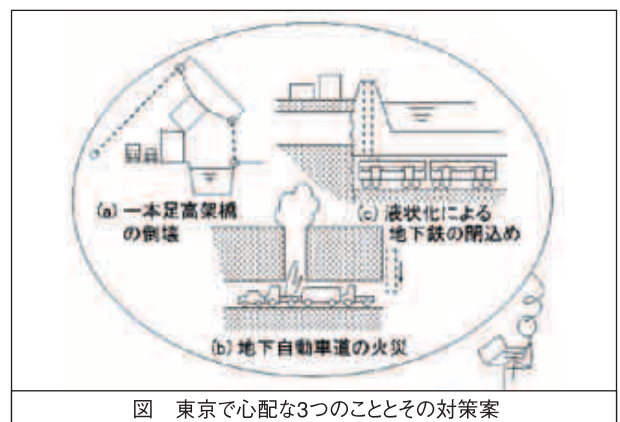


早く止めないと駄目です。政治がらみや、その他もろもろの理由で、いろいろなものを古いままやっているけれど、早く変えないといけません。それはどういう事かという産業構造が変わっているのです。今、高度成長期にやってきた重厚長大型から軽薄短小型にやはり変えないといけません。特に半導体の装置や液晶パネルの大型化というのは、これは道路を造っている人も知らないかもしれない。知っているかもしれない。資料をもらったら、例外規定で3.5メートルまで大丈夫だと言ったけれど、いちいち申請しないと2.5メートルしか出せないという。そんなとろい事を言っているのは、たぶん日本だけです。道路の幅だけではなくて、その初めから許可を受けたトラックについては、幅4メートルか4.5メートルまでは高速道路を走らせてやるという法律を作って、運用を早くやらないと駄目です。それが出来ないために、中部地方では、特に、シャープの工場がある三重県かな、三重県がひどい気がするのだけれども、あの辺が実は半導体と液晶の日本を一番しょって立っている所なのだけれど、道路がまるでなっていない。この間まで、どうでもいいようになってくれた造り方をしているし、できあがっても、今の規制をかけるしという事で。実はあの奥の方にあるシャープの新しい工場などは、たとえばエネルギーは全部四日市から専用のパイプで引いてくるとかやっているけれど、液晶の一番でかいものを、エッチング装置といっている物を運ぼうとすると、道路の幅が限られていて運べないのです。韓国はそこを見越して、産業が何かをやるといったら、道路の幅から何かから法律を変えて、ばんばん走らせてやるというやり方でやっている。日本は誰かがやるだろうなどとやっているうちに誰も何もやらないで、産業はものすごく苦しんでいます。世界中の半導体と液晶を作る機械は、実はほとんど全部日本が作っています。しかし、その寸法がだんだん大きくなったので、山の中にある工場が出荷する事ができないのです。ですから、工場立地が全部変わっているのに、法律と道路の体系を変えないでいるから、全部止まってしまっている。早くしろとすごく言いたいのです。その他もろもろ、間違った使い方のものがいっぱいあります。

たとえば、都市部分だと大深部地下がいいなんて、あれは全

部嘘です。火事が起こった時に全員焼け死ぬ、あんなの火葬場の炉の中みたいな構造になりますので、地下の利用というのは、早く止めた方がいいと、僕なんかはそういう事を思っています。

これが東京で心配な事の3つです。1つ目は一本足で立っている高架橋があります。特に、飯田橋の所から江戸川橋までの1.5キロくらいは一本足がずらっと神田川沿いに並んでいます。両側が川で、真ん中に一本足で、それで補強を済ませているから大丈夫だと高速道公団はそう言って、一生懸命直しているのです。「もう大丈夫ですよ、先生、そんなに心配しなくても」って。僕は心配です。あれはきっと長周期の横揺れできつと倒れる。それを止めるには今から対策を書いてみました。点線で吊ればいいのです。ああいう少し間の抜けたやり方だけど、ああいう物を早くやらなければいけないけど、誰も考えていないからやっていない。



東京の首都高だと、山手通りの人16キロくらいが自動車のあれで、ほぼ完成に近い所まで来ていますが、あれは火事が起こったら、みんな焼け死にます。焼け死なないように機械という機械はもうちゃんと出来ているのです。しかし、日本坂トンネルで、火事が起こった時のことを誰も忘れてる。信号は赤になったのに、行けるところまで行くと、みんな突っ込んでみんな燃えた。それから日本人がそれほど賢くなっているとは思えない。次に首都高で起こる時に先の方で火事が起こったっていうので、信号を赤にしたとして、みんなが止まるか。止まったらブーブー言って必ず後ろの奴がけしたてて、みんな中に入って行って、